

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 首下がり症候群に対しハローベストを使用した治療成績
	●研究の対象 2015 年 4 月から 2024 年 12 月までに浜松医科大学医学部附属病院整形外科にて首下がり症候群と診断されハローベスト固定術が行われた方 13 名
	●研究の目的 首下がり症候群(Dropped Head Syndrome :DHS)は水平視障害を来し日常生活の質を著しく低下させます。これまでにカラーやリハビリテーションなどの保存療法やインストゥルメントによる外科手術の治療成績について報告は散見されますが、ハローベストを使用した治療についての報告はありません。よって首下がり症候群に対しハローベストを使用した治療成績を検討することは重要です。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日より（西暦）2030 年 7 月 31 日 まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況 ・身体所見：身長、体重、BMI ・手術関連所見：ハローベスト装着期間 ・臨床検査：血液学的検査(白血球数、ヘモグロビン値、血小

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	板数)、生化学検査 (AST、ALT、ALP、Alb、BUN、Cre、HbA1c) ・画像検査：単純×線、単純×線、CT、MRI ・その他検査：歩行解析データ
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 長寿運動器疾患教育研究講座 特任講師 大江 慎
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：医学部附属病院整形外科 担当者： 大江 慎 TEL： 053-435-2299